2026年8月期（2026年3月2日～2026年8月4日）決算短信

2026年9月17日

ファンド名　iFreeETF 米ドル・ブル（1倍）　　上場取引所　東証
コード番号　516A
連動対象指標　ブルームバーグ米ドルブル（日本円）インデックス
主要投資資産　親投資信託受益証券、外国為替予約取引
売買単位　1口
管理会社　大和アセットマネジメント株式会社　URL　https://www.daiwa-am.co.jp/
代表者名　(役職名)代表取締役社長　(氏名)佐野 径
問合せ先責任者　(役職名)ディスクロージャー部長　(氏名)川根 浩志　TEL 0120-106212

有価証券報告書提出予定日　2026年10月28日
分配金支払開始日　2026年 9月11日

Ⅰ　ファンドの運用状況

１．2026年8月期の運用状況（2026年3月2日～2026年8月4日）

(1)資産内訳　（百万円未満切捨て）

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産（負債控除後）		合計(純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年 8月期	4,238	(100.5)	△21	(△0.5)	4,216	(100.0)

(2)設定･交換実績

	前計算期間末発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当計算期間末発行済口数(① +②-③)
	千口	千口	千口	千口
2026年 8月期	―	2,070	―	2,070

(3)基準価額

	総資産(①)	負債(②)	純資産(③(①-②))	1口当たり基準価額(③/当計算期間末発行済口数)
	百万円	百万円	百万円	円
2026年 8月期	4,308	91	4,216	2,037.19

(4)分配金

	1口当たり分配金
	円
2026年 8月期	2

(注)分配金は売買単位当たりの金額

２．会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　無
② ①以外の変更　無

Ⅱ　財務諸表等

(1)【貸借対照表】

	第1期 2026年8月4日現在 金　額（円）
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	13,896,511
親投資信託受益証券	4,238,105,709
未収入金	56,816,000
流動資産合計	4,308,818,220
資産合計	4,308,818,220
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	66,922,210
未払金	19,338,024
未払収益分配金	4,140,000
未払受託者報酬	128,438
未払委託者報酬	770,848
その他未払費用	538,086
流動負債合計	91,837,606
負債合計	91,837,606
純資産の部	
元本等	
元本　※1	4,140,000,000
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金（△）	76,980,614
（分配準備積立金）	98,256
元本等合計	4,216,980,614
純資産合計	4,216,980,614
負債純資産合計	4,308,818,220

⑵【損益及び剰余金計算書】

		第1期 自2026年3月2日 至2026年8月4日 金　額（円）
営業収益		
受取利息		231,710
有価証券売買等損益		4,901,709
為替差損益		△62,964,397
営業収益合計		△57,830,978
営業費用		
受託者報酬		128,438
委託者報酬		770,848
その他費用	※1	669,022
営業費用合計		1,568,308
営業利益又は営業損失（△）		△59,399,286
経常利益又は経常損失（△）		△59,399,286
当期純利益又は当期純損失（△）		△59,399,286
剰余金増加額又は欠損金減少額		140,519,900
当期追加信託に伴う剰余金増加額 又は欠損金減少額		140,519,900
分配金	※2	4,140,000
期末剰余金又は期末欠損金（△）		76,980,614

(3)【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

区分	第1期 自2026年3月2日 至2026年8月4日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として計算日の対顧客先物売買相場において為替予約の受渡日の仲値が発表されている場合には当該仲値、受渡日の仲値が発表されていない場合には発表されている受渡日に最も近い前後二つの日の仲値をもとに計算しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	計算期間 当ファンドの第1期計算期間は、2026年3月2日から2026年8月4日までとなっております。

（貸借対照表に関する注記）

区分	第1期 2026年8月4日現在
1. ※1 期首元本額	200,000,000円
期中追加設定元本額	3,940,000,000円
期中一部交換元本額	－ 円
2. 計算期間末日における受益権の総数	2,070,000口

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

区分	第1期 自2026年3月2日 至2026年8月4日
1. ※1 その他費用	主に、対象指数の商標の使用料であります。

区分	第1期 自2026年3月2日 至2026年8月4日
2.　※2　分配金の計算過程	当計算期間中に計上した受取配当金、配当株式、受取利息及びその他収益金から支払利息を控除した当期配当等収益額（5,806,564円）及び分配準備積立金(0円)の合計額から、経費(1,568,308円)を控除して計算される分配対象額は4,238,256円（100口当たり204円）であり、うち4,140,000円（100口当たり200円）を分配金額としております。

（金融商品に関する注記）

Ⅰ　金融商品の状況に関する事項

区分	第1期 自2026年3月2日 至2026年8月4日
1.　金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」第2条第4項に定める証券投資信託であり、投資信託約款に規定する「運用の基本方針」に従っております。
2.　金融商品の内容及びリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務等であり、その詳細をデリバティブ取引に関する注記及び附属明細表に記載しております。なお、当ファンドは、親投資信託受益証券を通じて有価証券に投資しております。 これらの金融商品は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 信託財産の効率的な運用に資することを目的として、投資信託約款に従って為替予約取引等を利用しております。
3.　金融商品に係るリスク管理体制	複数の部署と会議体が連携する組織的な体制によりリスク管理を行っております。信託財産全体としてのリスク管理を金融商品、リスクの種類毎に行っております。
4.　金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては、一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等に拠った場合、当該価額が異なることもあります。 デリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

Ⅱ　金融商品の時価等に関する事項

区分	第1期 2026年8月4日現在
1.　金融商品の時価及び貸借対照表計上額との差額	金融商品はすべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2.　金融商品の時価の算定方法	(1)有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。

区分	第1期 2026年8月4日現在
	(2)デリバティブ取引 デリバティブ取引に関する注記に記載しております。 (3)コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	第1期 2026年8月4日現在
	当計算期間の損益に 含まれた評価差額（円）
親投資信託受益証券	4,819,861
合計	4,819,861

（デリバティブ取引に関する注記）

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

通貨関連

種類	第1期 2026年8月4日現在			
	契約額等 （円）	うち 1年超	時価 （円）	評価損益 （円）
市場取引以外の取引				
為替予約取引				
買建	3,305,592,200	－	3,238,669,990	△66,922,210
アメリカ・ドル	3,305,592,200	－	3,238,669,990	△66,922,210
合計	3,305,592,200	－	3,238,669,990	△66,922,210

（注）　1.　時価の算定方法

(1) 計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

① 計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

② 計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

・ 計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

・ 計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

（関連当事者との取引に関する注記）

第1期 自2026年3月2日 至2026年8月4日
市場価格その他当該取引に係る価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	第1期 2026年8月4日現在
1口当たり純資産額 （100口当たり純資産額）	2,037.19円 (203,719円)